



本日、2学期の終業式を行いました。児童生徒の皆さんへは、自分なりの方法で積極的にあいさつすることが大切なこと、毎日の学校生活で頑張ってきたことや成功したことに自信をもってほしいこと、年末年始は楽しみながら規則正しい生活をして元気に過ごしてほしいことなどをお話しました。4月に新年度が始まり、保護者の皆様や地域の皆様にも多大なご協力とご支援をいただきましたことに、改めて深く感謝を申し上げます。

このところ、大変に冷え込む日が続いていますが、年末年始も引き続き、冬らしい寒さになることが予想されています。今年も残すところ7日となりましたが、皆さんには、防寒対策をしっかりと、感染症にも気をつけ、規則正しい生活をして、クリスマス、大晦日、お正月を元気に楽しく過ごしてほしいと思います。

さて、この2学期も1学期と同様に、遠足や校外学習、修学旅行、宿泊学習を予定どおり実施することができ、児童生徒の皆さんには、とてもよい思い出ができたと思います。また、11月13日と14日に開催した「きらめき祭」では、5年ぶりに来校者の制限をなくし、地域の皆様にもお越しいただくことができました。全学部でのステージ発表・作品展示、作業班の販売など、児童生徒の皆さんの日ごろの活動の成果を保護者や地域の皆様にご覧いただくとともに、児童生徒の皆さんの明るく元気に楽しんでいる姿をご覧いただけたかと思います。ご来校いただいた皆様、本当にありがとうございました。

今年は昨年度よりも少し短い冬休みになりますが、年明けの1月8日(水)には、児童生徒の皆さんの元気な姿を見ることを楽しみにしています。冬休みはご家族と一緒にゆっくり過ごしていただき、よい年をお迎えいただければと存じます。

## 社会に開かれた教育課程と共生社会の実現

少し硬いお話をさせていただくと、文部科学省が告示している現行の学習指導要領では「社会に開かれた教育課程」を実現することが強く求められています。この「社会に開かれた教育課程」のポイントは、①よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を学校と社会とが共有する、②これからの社会を創り出していく子供たちに必要な資質・能力が何かを明らかにしそれを学校教育で育成する、③地域と連携・協力しながら目指すべき学校教育を実現するの三つです。

そして、これらを支える仕組みがコミュニティ・スクール(学校運営協議会を置く学校)です。本校の学校運営協議会の委員は、茅ヶ崎市教育委員・大学教員、浜之郷小学校長、西久保自治会長、富士ソフト企画株式会社(特例子会社)部長、脚本家(茅ヶ崎市の地域活性化イベントを多数企画・開催)、茅ヶ崎市防災対策課長、茅ヶ崎支援学校長の8名で構成しています。

これまでも皆様にお伝えしてきましたが、共生社会を実現に向け、本校の児童生徒の皆さんをはじめ誰もがその人らしく暮らすことができる地域社会づくりを進めるため、本校の周知活動や地域と連携した授業(地域の皆さんによる出前授業・地域に出向いて行う授業)、防災・共生の取組などを保護者や地域の皆様のご協力とご支援をいただき実施しています。

今年度は新たに、サーカス(歌手)さんによる発声・和声(ハーモニー)を楽しむ授業、鉄斎(写真家)さんによる写真撮影(モラル・マナーを含む)の授業、DJ・HAGGY(マルチタレント)さんによる話し方の授業、欣ずし(寿司屋)さんによる巻物づくりの授業、海上保安庁湘南海上保安署の皆さん(いわゆる海猿)による着衣泳の授業を実施しましたが、これらにも学校運営協議会委員の皆さんにご尽力いただいています。

共生社会の推進と防災対策を一体的に進めていく必要があるように、「社会に開かれた教育課程」の実現も共生社会づくりにつながっていくと考えています。引き続き、保護者や地域の皆様のお力をいただき、教育活動の充実に努めていきたいと思っておりますので、よろしく願います。

(校長)